東海大学

2025
4 月号

研究 IRレポート

Tokai University
Institutional Research
Report

Times Higher Education (THE) World University Rankingsの分析

東海大学

宛 先

東海大学URAオフィス
〒 259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1
担 当 : 山田実俊、荒砂茜
Email: ura-tokai@tokai.ac.jp

Times Higher Education (THE) World University Rankingsの分析

東海大学と他大学との研究力の比較と、東海大学の強みとなっている研究分野について、FWCIを用いて2025年2月号で報告しました。FWCIやTOP10%補正論文などは被引用数を重きに置いた指標ですが、被引用数以外にも研究力を示す指標は多くあります。

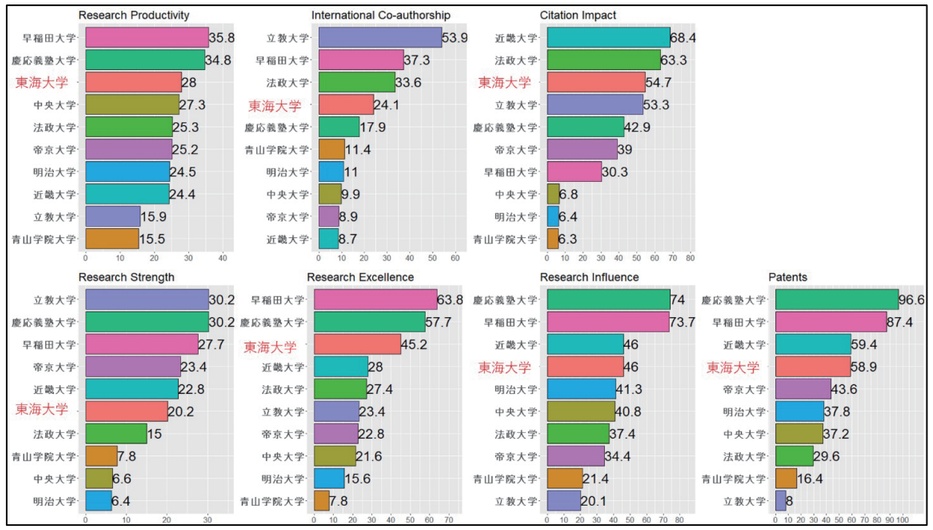
そこで本レポートではTimes Higher Education (THE) World University Rankings というTHEが中心となって作成している世界大学ランキングでの東海大学の評価を紹介します。THE World University Rankings では 学習環境(29.5%)や研究環境(29%)、国際的な展望(7.5%)、研究の質(30%)、産業界収益(4%)を指標としてランキングを作成しています（括弧内はランキングのための指標の割合）。その中でSciValでは研究環境に当たるResearch Productivity（研究生産性）(5.5%)、国際的な展望に当たるInternational Co-authorship（国際協力）(2.5%)、研究の質に当たるCitation impact（引用の評判）(15%)、Research strength（研究の強さ）(5%)、Research excellence（研究の優秀性）(5%)、Research influence（研究の影響力）(5%)、産業界収益に当たるPatents（特許）(2%)（合計:40%分）の指標についての得点データを収集できます。本レポートでは、東海大学と（2月号と同様の）9大学の得点データを収集し、指標ごとに比較しました。指標の得点の詳細については「THE_World_University_Rankings_指標の得点の求め方.pdf」を参照にしてください。

THE World University Rankingsは順位を範囲で表現されていて、プラス（+）はそれ以上の順位を示します（また、年度によって順位の範囲が異なっています）。10大学で比較すると、全体的には慶応義塾大学と早稲田大学が高い順位であることがわかりました。東海大学の順位の推移は2021年度が1001位以上、2022年度が1201位以上とあまり芳しくない順位でしたが、2023年度、2024年度、2025年度では1200位から1500位と最下層を抜けることができ、多くのMARCH大学より比較的高い順位を収めました。東海大学の評価として、この順位を下げないことが重要になることがわかりました。

THE World University Rankingsの推移の比較（2021～2025年度）

大学	2021	2022	2023	2024	2025
東海大学	1001+	1201+	1201-1500	1201-1500	1201-1500
青山学院大学	1001+	1201+	1501+	1501+	1501+
中央大学	1001+	1201+	1501+	1501+	1501+
法政大学	1001+	1201+	1201-1500	1501+	1201-1500
慶応義塾大学	601-800	601-800	801-1000	601-800	601-800
近畿大学	801-1000	801-1000	801-1000	1001-1200	1201-1500
明治大学	1001+	1201+	1501+	1501+	1501+
立教大学	801-1000	1001-1200	1001-1200	1201-1500	1501+
帝京大学	501-600	801-1000	1201-1500	1501+	1501+
早稲田大学	801-1000	801-1000	1001-1200	801-1000	801-1000

THE World University Rankingsの指標ごとの比較（2025年度）



（2025年3月19日現在）

10大学で比較すると、全体的にはTHE World University Rankingsと同様に慶応義塾大学と早稲田大学がどの指標でも高得点を獲得していて、一部の指標で立教大学や近畿大学が高得点を獲得していました。東海大学は10大学の中で、Research Productivity（研究生産性）が3位、International Co-authorship（国際協力）が4位、Citation impact（引用の評判）が3位、Research-strength（研究の強さ）が6位、Research excellence（研究の優秀性）が3位、Research influence（研究の影響力）が3位タイ、Patents（特許）は4位でした。FWCIの平均値を参照とするCitation impactでは2月号で報告したように高得点を獲得していて、これがTHE World University RankingsでMARCHを上回った要因だと考えられます。他の指標でも上位3位、4位に多く位置するため、全体的な研究力では他の大学に引けを取らないことがわかりました。一方で、大学のFWCIの75%タイル（上位25%タイル）を参照とするResearch strengthでは少し得点が伸び悩んでいることがわかりました。しかしこれらの指標は直近の5年（2019～2023年）の平均であり、このままの研究力を維持すれば自ずとTHE World University Rankingsは上昇していくと考えられます。

THE Impact Rankingsについて

THEでは、大学の社会的影響力を評価するために、持続可能な開発目標（SDGs）に基づくランキングをTHE Impact Rankingsとして提供しています。東海大学の全体的な順位は1000位から1500位ですが、Goal 3（すべての人に健康と福祉を）で601位から800位、Goal 9（産業と技術革新の基盤を作ろう）で201位から300位、Goal 10（人や国の不平等をなくそう）で601位から800位と比較的高順位でした。THE Impact Rankings参加するための参加するための条件については「THE_World_University_Rankings_指標の得点の求め方.pdf」を参照にしてください。